

## 5. 階段・スロープの転倒防止対策

項目	
体感の目的	1) 階段・スロープに適用する転倒防止対策の確認
要員	計2名（講師、講師補佐）
標準時間	10分
準備機材	階段・スロープ転倒防止デモ装置
会場準備	特になし
安全に体感するためのポイント	転倒防止対策がない階段やスロープを使用する場合、必ず手すりを持たせて、転倒しないように配慮すること。
体感前説明	階段やスロープの安全な設計方法とスロープの滑り止め対策の説明
実体感手順	①受講者に一人ずつ対策前と再錯誤の階段とスロープを歩いてもらい、安全性を体感してもらう。
体感後説明	階段やスロープでの転倒災害が多いことを説明する。
強調点	階段やスロープの安全対策不備や、物を持って昇降する際の危険性を説明する。

メモ



(体感教育の状況)

階段・スロープでの転倒防止対策の効果を比較することで体感する。



踏面と蹴上の適切な設計と段鼻に設置した滑り止めの効果を体感する。

(写真左：対策前、写真右側：対策後)



スロープに設置した滑り止めの効果を体感する

(写真左：対策前、写真右側：対策後)

## DVDによる安全体感教育

項目	ポイント
体感の目的	多様な体感教育の紹介
準備機材と 準備分担	◎体感教育受講DVD …………… コンサルタント会 ●DVDプレイヤー(パソコン)…………… 開催場所事業所など ●プロジェクター ……………… 開催場所事業所など ●スクリーン(壁などに投影できれば不要)・ 開催場所事業所など ◎:借用 ●:消耗品 ◎:消耗品 ●コードリール ……………… 開催場所事業所
会場準備	・教室(または椅子)
体感前説明	・実体験することの重要性(忘れない)
実体感手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVDを見せながら、解説すると共に受講時の印象を説明する <ul style="list-style-type: none"> <li>①サンドバッグの落下 <ul style="list-style-type: none"> <li>・落下したときの衝撃と危険、高所作業安全対策の重要性など</li> </ul> </li> <li>②安全帯ぶら下がり <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全帯の重要性、正しい使い方など</li> </ul> </li> <li>③垂直梯子 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三点タッチ(支持)での昇降</li> <li>→ 手に物を持たずにゆっくり昇降を</li> </ul> </li> <li>④玉掛 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイヤーが切断する危険性、ワイヤーに手指を挟まれる危険性など</li> </ul> </li> <li>⑤回転体巻き込まれ・加工エネルギーは大きく人力では勝てない <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速回転体の危険性とカバーの重要性</li> <li>・回転体に手を出す危険性と巻き込まれたときの衝撃と強さの体感</li> </ul> </li> <li>⑥電気 <ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧電気での感電の危険性、タコ足配線の危険性など</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
体感後説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体感教育を行っている専門教育機関利用の利点(講師と安全確保)</li> <li>・実際に体験してその恐さを体感することで、その重要性がわかることを強調する</li> <li>・体感教育を行う時は、体感した危険に留まらず、想像力を働かせて危険感受性を高めた作業に結びつけることが大切であることを強調する</li> </ul>